

令和5年度 北海道東川高等学校 自己評価及び学校関係者評価

1. 学校教育目標
 他人の気持ちや考えを理解し、適切に行動する人材の育成
 互いの目標を高め、協働して社会に貢献する人材の育成
【美風律】
【美音律】
【美音律】
2. 育成を目指す資質・能力
 東川 mind (福祉 mind (至誠心、受容力、共感力)、Glocal mind (社会性、協働性、コミュニケーション力)、Challenge mind (主体性、行動力、創造力))
3. 重点目標
 (1) 教育活動に主体的に取り組み、自分の夢や目標を大切にし、達成に向けて継続的に努力する生徒を育成する。
 (2) 互いの認め合い高め合規範意識を身に付け、自他の生命を尊重し行動する生徒を育成する。
 (3) 基本的な生活習慣や規範意識を身に付け、自律的に行動する生徒を育成する。
 (4) 望ましい職業観・勤労観を身に付け、社会及び職業に円滑に移行できる生徒を育成する。
 (5) 故郷を理解し愛するとともに、グローバルな視点で物事を考え行動することができる生徒を育成する。

4. 自己評価及び学校関係者評価結果

学校運営協議会
委員による評価

分野 領域	評価項目	記 評 価	改善の方策	自己評価と改善方策 の適切さ
教育 目標	1. 本校の教育目標は、生徒の実態と保護者や地域の方々の願いを踏まえたものになっていますか。	B	生徒や保護者、また学校関係者の声に耳を傾ける機会を維持し、教育目標等の適正を継続的に検証する。	A
	2. 教育目標の具現化や「育成を目指す資質・能力」を身に付けさせることを意識して、日々の教育活動を行っていますか。	B	各教育活動と「育成を目指す資質・能力」の関連性について教員間の異通理解を深め、生徒と共有する。	B
学習 指導	3. 生徒が意欲的に学ぶことができるよう、分りやすい授業を行い、指導方法や指導形態等の工夫改善に努めていますか。	B	定期的な授業評価の実施及び分析、指導力向上に向けた校内研修を充実する。	B
	4. 基礎学力の定着及び学力向上に向けた取組を行っていますか。	B	スタディサプリの活用（R5使用開始）をさらに進め、家庭学習を習慣化させる。また、町の公設塾との連携を促進する。	B
	5. 「総合的な探究の時間」の計画をすすめることができましたか。	A	外部機関と連携し、今年度築いた構想をもとに計画・実施する。	A
生徒 指導	6. 生徒に法令や生徒心得を遵守する姿勢が育ち、基本的な生活習慣が確立され、主体的に行動ができるような指導を行っていますか。	C	学習活動や進路指導など全ての教育活動を軸とした生徒の向上を図る具体的な目標を設定し実践する。	B
	7. 他を思いやり、尊重する意識を高めるよう指導を行うとともに、いじめの未然防止に取り組んでいますか。	B	望ましいコミュニケーションの在り方等について理解を深める取組（外部機関との連携等）を充実する。	B
	8. 生徒同士の協働を推進し、行事の活性化を図ることができましたか。	A	生徒個々の「主体性の育成」を前提に、校内外の研修を利用するなどして、リーダーの育成に注力する。	B
進路 指導	9. 望ましい勤労観や職業観を身に付けるための指導を進めていますか。	B	予測困難な時代を見据え、校内外の様々な人から学ぶ機会を提供する。	B
	10. 進路希望に関する情報や資料提供等を適切に行い、生徒の適性や希望を生かすことのできる進路指導体制ができていますか。	B	自己理解を深める活動や生徒の特性に応じた指導・支援を充実させる。また、生徒情報の共有を図る（公設塾との連携を含む）。	B
健康 安全	11. 健康指導・交通安全や美化活動などの生活安全に関する指導が適切に行われていますか。	A	交通安全教室等や今年度から実施した「1日防災学校」をより現実的な内容となるよう見直しを図る。	B
	12. 個人面談や教育相談体制の充実などが、生徒一人ひとりを大切にできる体制ができていますか。	A	日常的に生徒理解に努め、スクールカウンセラー等を効果的に活用し、面談等で得た対話を共有しながら、スピード感のある対応を継続する。	B
信頼 される 学校 づくり	13. 保護者や地域と連携・協力した教育活動が進められていますか。	A	公開授業や学校行事等を保護者や地域に呼びかけ、更なる連携・協働の充実に努める。	A
	14. 保護者・地域に積極的に情報提供するなど、関係された学校づくりを意識し、推進していますか。	A	学校HPの更新、学校だよりの発行など本校の取組を効果的に発信する。また、本道外への広報活動に組織的に取り組む。	A
その他	15. 業務を組織的に行うとともに、効率化に努めていますか。	B	業務の平準化を念頭にした校務分掌を構成する。	B